

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ふる里学舎こども館

公表日 令和7年 5月 日

利用児童
数 年月日 40

回収数 21

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	1	0	0	・活動部屋は広々としていて、外遊びのスペースも広大でのびのびと過ごすことができる。 ・室内は分からないですが、屋外によく出て活動できていそうです。	基準である1人当たり1.65㎡以上、活動スペースがあります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17	2	0	2	・最近は小学生の元気なお子様も増えたので、その子たちも周りの子たちもけがなどないように目が届く職員の数は増やしてほしい。危ないことはすぐに止めてほしい。 ・事故やケガもなく過ごせています。	定員10名に対しての、配置基準は2人です。加配加算取得状況により+1名の職員を配置するとともに、利用状況や障害特性に応じて協力職員を配置こともあります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	2	0	4		更衣室やトイレ等は活動スペースとは別にあり、プライバシーにも十分配慮した環境です。また活動場所はバリアフリーでもあり、お子さんの障害特性によっては言葉だけでなく、文字や絵柄等でコミュニケーションを図るなど工夫して支援を行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	1	0	0	・整理整頓されています。	適宜掃除は実施しています。設備・玩具等が古くなってきた時は修繕やこどもらに興味がありそうな新たな物の導入も行っています。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	4	0	0	・専門性はよく分からないが、特性に応じた対応はしてくれていると思う。 ・重度の障害でコミュニケーションや活動への参加が難しい中、無理なく楽しく過ごせるよう支援していただいている。	日々の活動の中で1人1人の個性を把握して、ご本人が楽しく安心して過ごせるように支援しています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17	2	0	2		支援プログラムはR7.3からHPにて掲載しています。法人の理念を基に事業所の環境や障害特性に応じた支援を行っています。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	2	0	0	・こどもの大人になるまえのことを見据えて考えるべきだいを一緒に考えて頂いています。コミュニケーションもこまめにとって頂いています。	日々の活動を通して常に本人状況の理解を深めており、日頃の関りを計画に入れています。その中で浮き彫りになった課題等は終了対応時等にご家族と共有しています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	3	0	3		ガイドラインに基づき、こどもの支援に必要な項目を設定して個別支援計画を作成しています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	3	0	0		日々の活動内容が計画にもなっています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	2	1	0	・季節の行事など、色々なイベントを行っていただいています。 ・楽しいイベントが多くあり、子どもも楽しく通所できています。	活動内容については、利用する児童の特性や雰囲気等に配慮して決めています。特に同じ児童が何度も同じ活動を行わなくても済むように、活動を分ける等の工夫もしています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	5	3	7	・地域のこどもとの活動は分からない。 ・合同イベントなど、同法人の他事業所のこどもと活動することがあります。 ・利用回数が少ないため分かりません。 ・機会は少ないですが求めている。	地域の方を招いたお祭りや、季節イベントを通してこどもだけでなく一般の大人との交流機会の場を設けています。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	2	0	0		利用開始前の契約時に説明をしています。利用者負担は変更が生じた場合はその都度文章にてお知らせしています。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19	2	0	0		個別支援計画を実際に見てもらいながら説明を行っています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	7	4	5	・辻井さんのセミナーに参加しました。とても感動しました。参加の機会を頂けて感謝しております。 ・特に求めている。 ・グレイゾーンの子への関わり方や将来についての研修会などあれば参加してみたいです。 ・ふる里学舎と支援学校のみです。そこで色々な友達と活動しています。	プログラムを組んでいる訳ではありませんが、必要に応じてお子さんとの関わり方を助言したり、研修会や交流会の案内は適宜行っています。

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	19	2	0	0		終了時にご家族と日々の活動や学校、家庭での様子を共有しています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	6	1	1	電話でのモニタリングはあります。	日頃から対面での会話をしていますが、必要に応じて面談の時間を設ける等柔軟に対応しています。但しその際は家族支援加算の対象となります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	2	0	0		お子さんの気持ちに立って支援を行っています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	6	5	7	利用回数が少ないため分かりません。	保護者会はありませんが、コロナ禍で開催を見送っていた保護者研修会交流会をR7年度は開催する予定です。ご両親が研修会に参加している間、きょうだいも遊べる時間を設ける等、参加しやすい環境を取っていきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	4	0	1		直接頂いたご意見やご要望については、その対応が可能なのか協議した上でご回答させていただいています。そのような場を改めて設けているわけではなく、日々のご家族とのやり取りの際にお知らせください。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	2	0	0		必要性がある場合には連絡ノートを用いたやり取りをしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	19	2	0	0		インスタグラム等を用いて活動の様子等を発信しています。自己評価の結果等は保護者研修会時等に発信します。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	2	0	0		個人情報に関しては法人全体でも研修等を行い情報漏洩とならないよう留意しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	3	0	8	利用回数が少ないため分かりません。	各マニュアルは安全計画として冊子にあります。各事業所、保護者もご覧になれるよう入り口等に置いてあります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	2	0	11	・利用日数が少ないので分からないが、訓練していると思う。 ・利用回数が少ないため分かりません。	消防計画に定める訓練を実施しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	2	0	4		安全計画は研修会等で保護者への発信を行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	1	1	2	・ちょっとしたことで、怪我をしたとかぶつけたとか送迎時にご説明していただいています。 ・利用回数が少ないため分かりません。	軽微な擦過傷以外は保護者へ状況説明の連絡を行っています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	19	1	0	1	・事業所に直接迎えに行った時など、とても良い表情で遊んでおり安心して過ごしているなどと思います。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	19	1	0	1	・到着するとルンルンで建物に走っていきます。楽しみにしているんだなと思います。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	19	2	0	0	・子どもだけでなく、親の就労や家族の生活も放課後等デイの皆様を支えて頂き成り立っています。 ・家までの送りがあると、とても良い。	

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ふる里学舎じどう館

公表日 令和7年 5月 日

利用児童数 54

回収数 31

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	31	0	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	24	2	1	4		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	27	2	0	2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	28	1	0	2		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21	8	0	2		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22	4	0	5		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22	8	0	1		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	6	0	3		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23	6	0	2		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	9	0	6		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	4	6	14		
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29	1	0	1		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24	5	0	2		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	8	3	10		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	30	1	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	7	6	5		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25	5	0	1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	6	6	14		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	7	0	4		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	27	4	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	29	1	1	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	30	0	0	1		
非常 時等	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	5	0	9		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	2	0	11		

の 対 応	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	3	0	8		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23	3	0	5		
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	28	1	0	2	利用を楽しみにしています。	これからも楽しみにご利用して頂けるように遊びやイベントを企画していきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	27	2	0	2		
	29	事業所の支援に満足していますか。	24	7	0	0		

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ふる里学舎五井つぼみ館

公表日 令和7年 5月 日

利用児童
数 23

回収数 16

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	0	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12	3	1	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	0	0	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	3	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	1	0	0	保護者の話をよく聞いて計画を立ててくださっていると感じます。	日々の活動を通して常に本人状況の理解を深めており、日頃の関りを計画に入れています。その中で浮き彫りになった課題等は終了対応時等にご家族と共有しています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	1	0	0		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	2	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	3	0	0	イベント等楽しみにしております。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	5	5	3	難しく感じる。	地域の方を招いたお祭りや、季節イベントを通してこどもだけでなく一般の大人との交流機会の場を設けています。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	0	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	2	0	1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	8	0	5		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	15	1	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	2	1	1		

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	1	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	4	3	5		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	1	0	2		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	2	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15	1	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	1	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	0	1	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	2	1	3		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	0	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	0	0	1		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	16	0	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	14	2	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	1	0	0		

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ふる里学舎アネッサデイセンター

公表日 令和7年 5月 日

利用児童数 12

回収数 8

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	0	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	7	0	0	1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	0	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7	1	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8	0	0	0		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7	1	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7	0	0	1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7	0	0	1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6	1	0	1		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	1	1	3	週に一度(土曜日のみ)だと交流は難しいのかもしれませんが	ふる里学舎で行われる地域の方を招いたお祭りへの参加ご案内や、季節イベントを通して館内での交流機会の場を設けています。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8	0	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7	0	0	1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	1	0	5	研修等あったかもしれませんが参加しておりません	個々にプログラムを組んでいる訳ではありませんが、必要に応じてお子さんとの関わり方を助言したり、研修会や交流会の案内は適宜行っています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	8	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	0	0	2		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7	0	0	1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	0	0	5	活動の支援があるかわかりませんが現状で満足しています。	保護者会はありませんが、コロナ禍で開催を見送っていた保護者研修会交流会をR7年度は開催する予定です。ご両親が研修会に参加している間、きょうだいち遊べる時間を設ける等、参加しやすい環境を取っていきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7	0	0	1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7	0	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	6	0	0	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	0	0	0		

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	1	0	2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	0	0	2	事業所利用が週1なので訓練実施日に合わないのかも	消防計画に定める訓練を実施しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	0	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	0	0	2	事故は発生していないためお答えしかねます。	軽微な擦過傷以外は保護者へ状況説明の連絡を行っています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	8	0	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	8	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	8	0	0	0		

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ふる里学舎浦安ブレイス쿨

公表日 令和7年 5月 日

利用児童
数 50

回収数 26

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	26	0	0	0	・電気がついていない時があり、暗く感じた。 ・部屋が仕切られており、落ち着くと思う。	お子さんの様子や、特性に応じて落ち着いて過ごせる環境を整えています。電気については、拘って消してしまう利用児もいるので、都度電気をつけて対応をします。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16	1	0	9	・職員の就業満足度が高くなる環境であってほしい。	利用状況や障害特性に応じて協力職員を配置こともあります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	25	0	0	1		トイレ等はお子様の年齢や身長によったサイズ、また手すりもついていることで安心して使用をすることができます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	26	0	0	0	・特性に合わせて活動出来ていると思う。	掃除や玩具の消毒を実施しています。古くなってきた玩具を回収して、新しい玩具を用意しています。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22	1	0	3		職員同士で連携を図り、一人ひとりに寄り添い、楽しく安心して過ごせるよう支援をしています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23	0	0	3		支援プログラムはR7.3からHPにて掲載しています。法人の理念を基に事業所の環境や障害特性に応じた支援を行っています。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25	0	0	1	・相互的に理解できている。	日々の活動を通して常に本人状況の理解を深めており、日頃の関りを計画に入れています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23	1	1	1	・ガイドライン「提供すべき支援」にて、療育を実施していないブレイス쿨が何故放デイの認可を受けているのか疑問に感じる。	ガイドラインに基づき、こどもの支援に必要な項目を設定して個別支援計画を作成しています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22	2	0	2		支援計画に基づいて、日々支援をしています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	1	0	4	・安全に過ごしていると思うが、平日のプログラムが分からない。	活動内容については、利用する児童の特性や雰囲気等に配慮して決めています。またみらいダイアリー等の連絡帳アプリを使用し伝えている。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	12	0	4	10		今後他事業所との交流できる場を計画させていただきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25	1	0	0		利用開始前の契約時に説明をしています。利用者負担は変更が生じた場合はその都度文章にてお知らせしています。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25	0	0	1		個別支援計画を実際に見てもらいながら説明を行っています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	4	3	10		プログラムを組んでいる訳ではありませんが、必要に応じてお子さんとの関わり方を助言したり、研修会や交流会の案内は適宜行っています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	23	3	0	0	・連絡帳で過ごし方が分かる。	連絡帳アプリや終了時にご家族と日々の活動や学校、家庭での様子を共有しています。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25	0	0	1	・相談しやすい環境を作ってもらっている。	日頃から対面での会話をしていますが、必要に応じて面談の時間を設ける等柔軟に対応しています。但しその際は家族支援加算の対象となります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	0	0	3		お子さんの気持ちに立って支援を行っています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	4	5	11	・父母会について知りたい。 ・保護者同士の情報交換の場がほしい。 ・遠足等のイベントがないのが残念。 ・必要と思わない。	保護者会はありませんが、コロナ禍で開催を見送っていた保護者研修会交流会をR7年度は開催する予定です。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	1	1	5		直接頂いたご意見やご要望については、その対応が可能なのか協議した上でご回答させていただいています。そのような場を改めて設けているわけではなく、日々のご家族とのやり取りの際にお知らせください。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24	1	0	1		必要性がある場合には連絡帳アプリを用いたやり取りをしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	26	0	0	0		インスタグラム等を用いて活動の様子等を発信しています。自己評価の結果等は保護者研修会時等に発信します。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25	0	0	1		個人情報に関しては法人全体でも研修等を行い情報漏洩とならないよう留意しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	1	2	6		各マニュアルは安全計画として冊子にあります。各事業所、保護者もご覧になれるよう入り口等に置いてあります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	0	2	9		消防計画に定める訓練を実施しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	2	0	5	・不測の事態に備えてマニュアルを整備してほしい。	安全計画は研修会等で保護者への発信を行う予定です。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	1	0	5	・怪我をした際の説明が不十分であった。	軽微な擦過傷以外は保護者へ状況説明の連絡を行っています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	25	0	0	1		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	23	1	0	2	・長期休み等の長時間は、子どもが退屈だと言いつつ利用しがたない。	活動内容は季節に合わせた内容を考えています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	23	3	0	0	・時折トラブルの際、不安に感じる。	都度、保護者へ連絡し説明をしています。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 そよかぜキッズ

公表日 令和7年 5月 日

利用児童
数 39

回収数 25

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	5			・小学校高学年になると狭く感じる。 ・活動の部屋が広く、園庭もあって良い。	基準である1人当たり1.65㎡以上、活動スペースがあります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	19	2		4	・職員と子どもの人数の割合が支援学級より手厚いと感じる。	定員10名に対しての、配置基準は2人です。加配加算取得状況により+1名の職員を配置するとともに、利用状況や障害特性に応じて協力職員を配置こともあります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	1		2	・活動の部屋にあるものがエリアごとに分かれているように見受けられる。	更衣室やトイレ等は活動スペースとは別にあり、プライバシーにも十分配慮した環境です。また活動場所はバリアフリーでもあり、お子さんの障害特性によっては言葉だけでなく、文字や絵柄等でコミュニケーションを図るなど工夫して支援を行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23			2	・日中一時支援のお子さんも一緒に過ごすことがある様で、空間が工夫されている。	適宜掃除は実施しています。設備・玩具等が古くなってきた時は修繕やこどもらに興味がありそうな新たな物の導入も行っています。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21	1		3	・子どもの様々な拘りにも配慮していただきありがたい。 ・直近の親から見た困り事も背景や本人の意図も汲んでくださっていると思う。	日々の活動の中で1人1人の個性を把握して、ご本人が楽しく安心して過ごせるように支援しています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19			6		支援プログラムはR7.3からHPにて掲載しています。法人の理念を基に事業所の環境や障害特性に応じた支援を行っています。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23	1		1	双方の想いを含めて下さっていると思う。	日々の活動を通して常に本人状況の理解を深めており、日頃の関りを計画に入れています。その中で浮き彫りになった課題等は連絡帳にてご家族と共有しています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	1		2		ガイドラインに基づき、こどもの支援に必要な項目を設定して個別支援計画を作成しています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23			2		日々の活動内容が計画にもなっています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20		1	4		活動内容については、利用する児童の特性や雰囲気等に配慮して決めています。特に同じ児童が何度も同じ活動を行わなくても済むように、活動を分ける等の工夫もしています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	4	8	10		地域の公園や公共施設への外出を行い、地域の子供たちと交流する機会を設けています。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25					利用開始前の契約時に説明をしています。利用者負担は変更が生じた場合はその都度文章にてお知らせしています。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24			1		個別支援計画を実際に見てもらいながら説明を行っています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	5	2	6		プログラムを組んでいる訳ではありませんが、必要に応じてお子さんとの関わり方を助言したり、研修会や交流会の案内は適宜行っています。

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	21		1	2	・園での様子を共有でき助かる。	終了時にご家族と日々の活動や学校、家庭での様子を共有しています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	2	1			必要に応じて面談の時間を設ける等柔軟に対応しています。但しその際は家族支援加算の対象となります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	1		1		お子さんの気持ちに立って支援を行っています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	9	4	5		保護者会はありませんが、コロナ禍で開催を見送っていた保護者研修会交流会をR7年度は開催する予定です。ご両親が研修会に参加している間、ごきょうだいまち遊べる時間を設ける等、参加しやすい環境を取っていきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	2		2	・話をしっかり聞いていただけるし、質問しやすい。	直接頂いたご意見やご要望については、その対応が可能なのか協議した上でご回答させていただきます。そのような場を改めて設けているわけではなく、日々のご家族とのやり取りの際にお知らせください。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	2		1		必要性がある場合には連絡アプリを用いたやり取りをしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	23	1		1		Instagram等を用いて活動の様子等を発信しています。自己評価の結果等は保護者研修会時等に発信します。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24			1		個人情報に関しては法人全体でも研修等を行い情報漏洩とならないよう留意しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22	1		2		各マニュアルは安全計画として冊子にあります。各事業所、保護者もご覧になれるよう入り口等に置いてあります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22	1		2		消防計画に定める訓練を実施しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22	1		2		安全計画は研修会等で保護者への発信を行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23	1		1	・怪我等のトラブルがあったが、申し出を聞いて対応してくれている。 ・いつもすぐに教えて下さったり、防げるときは防いでくださり、安心してお願い出来る。	状況に応じて保護者へ状況説明の連絡を行っています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	23	1		1	・子どもの気持ちを聞くことが出来ないで回答出来ないが、過ごせる場所を作ってくださっていることに感謝しかない。 ・職員に安心感があるので、要求出来ているのと思う。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	22	2		1	・子どもの気持ちを聞くことが出来ないで回答出来ないが、過ごせる場所を作ってくださっていることに感謝しかない。 ・最近、他放デイや学校もやや行き渋りがあるが、行くと楽しい様子。 ・毎日そよかぜの鞆を自分でもって登校している。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	23	2		0	・子どもが嬉しそうに通っている。 ・2年前くらいから事業所の様子が分かりずらくなった気がする。丁寧さの質が下がっている気がする。 ・指定管理期間終了の話がありすごく不安ですが、期間終了後も継続していただきたいと願っている。 ・子どものその日のコンディションを見て対応して下さっていて、ありがたい。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ふる里学舎こども館		令和7年 5月 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人等で研修を開催する機会が確保されているか。	5			
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			

な 支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	0	5	対面で集まることが難しいため、電子媒体を使用し共有をしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	5		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		5		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ふる里学舎五井つぼみ館		令和7年 5月 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	4	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	机上で課題を取り組むエリアと身体を動かすエリアが分かれており、落ち着いて過ごすことができます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	1		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	0		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	1		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	1		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、	4	0		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	4	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	0	児童だけでなく、年代を超えて地域の方との交流イベントがあります。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	4		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	4		

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	3	1		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
非常時の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	0		
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和7年 5月 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	1	概ね適切な人数が配置されているが、状況によっては把握職員が少ない時があります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	ブレイルームやトイレが別になっています。段差もありません。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	清潔で心地よい空間になっています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	個室は着替えやクールダウンを行う場所として活用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	月1で担当者会議を実施し、個別の対応や業務内容の見直しについて話し合いの時間を設けています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0		
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、	7	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0		

な 支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	朝の打ち合わせや電子媒体を通じて情報共有を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	7	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	0		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7	0		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和7年 5月 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		児発センターで定める1人あたり2.47㎡ = 24.7㎡より広いアネッサ(112㎡)	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	4	2	重心児童がいる際には職員配置を手厚くして欲しい時があります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		ブレイルームやトイレが別になっています。段差もありません。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		清潔で心地よい空間になっています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	2	アネッサでは重心スペース アネッサでは個別の部屋は無いため重心の部屋かパーテーションを利用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		担当者会議や職員会議にて参画しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		必要に応じて改善に繋がっています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		会議や個別面談で意見を聞き取り、必要に応じて改善に繋がっています。 今年度も担当者会議により情報共有・意見交換の場がありました。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	年2回、第3者委員を交えて環境委向上委員会を実施しています。その際に事業所の活動についてを報告しています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		理念接遇研修等、全職員研修に参加する機会が確保されています。	
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		作成してR7.3からHPにて公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		アネッサは日々児童担当者が変わることで共有の難しさがあると感じることがあります。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		記録ソフトを用いて行っています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		児童担当者間で行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			

提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		支援開始直前には行っていないが、事前に情報共有して支援を行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		打ち合わせの時間を設けて実施はしていないが、ケアカルテの記録やチャット等で共有して支援に繋げています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		日々の支援の検証・改善を行っています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		基本半年に一度、又は必要に応じて適宜モニタリングを行っています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6		本人支援の中で「自立支援と日常生活の充実のための活動」「多様な遊びや体験活動」、「地域交流の活動」、「こどもが主体的に参加できる活動」を組み合わせている「4つ基本活動」を皆で意識できる機会があると良いと感じることがあります。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児童担当者が参加しています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		蔵波エリアとして体制を整えています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		必要に応じて行っています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		相談支援専門員を通して行っています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		発達センター主催の研修等に参加しています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6		ハロウィンの時
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		日頃から会話をし、必要に応じて面談を実施しています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	研修会が実施出来ていなかったが来年度開催を考えています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に説明を行っています。支援プログラムはR6年度から公表の義務化であるため、個別支援計画時になどにお伝えしていきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		常に保護者との会話を取り入れ本人利益を優先しています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	2	保護者会は設置されていません。今後、研修等の機会を設ける予定です。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		苦情はありませんが、そのような意見があった場合には内容を精査した上で可能な範囲で対応していきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		事業所便りを発行しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		必要によってノートを用いるなど配慮しています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		医師の指示書があれば対応しています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		個別支援等の説明時にも情報をお伝えしていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		対象者はいませんが、必要な状況の際にはその対応を行います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和7年 5月 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	放課後等デイサービスの児童と子育て短期支援事業の児童が一緒の空間で活動するときがあると、プレースクールだけでは狭いと感じる時があります。福祉センター活動室を有効活用し、活動を提供しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	1	衝動的に行動する児童や他害の可能性が考えられる児童など、複数人が利用している時に、応援職員を依頼しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	細かい箇所の清掃が行き届かないときがあるため、改善していきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	話し合いをして改善していきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	年2回、第3者委員を交えて環境委向上委員会を実施。その際に事業所の活動についてを報告しています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3	打ち合わせを行い、都度情報は共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1	利用児童の記録は毎日取り、支援の検証をしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	2		

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	相談があればその都度対応しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	4		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	1	連絡帳アプリを使用し、行事の写真が欲しいという声を頂いています。検討させていただきます。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2		
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		

	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	共有し、改善策を活用出来るよう見直しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和7年 5月 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		利用人数が多い日は狭く感じる時があります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	10		適切な人数が配置されているが、状況によっては把握職員が少ないと感じる時があります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	1	・一部バリアフリー等になっていない場所があります。 ・危険箇所等は、見直し対応しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	1	個別の状況によって部屋を変えて対応している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	1	職員配置や場所の使用が可能な場合は対応しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10		毎月、職員会議及びクラス会議を行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	1	年2回、第3者委員を交えて環境委向上委員会を実施。その際に事業所の活動についてを報告しています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		法人内での研修は職員に分かりやすく、学べる環境の場を設けていただいている為、とても良い。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	1		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10			

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	3	勤務時間が異なるため、全体での打ち合わせ時間を取ることが難しい為、電子媒体を通じて情報共有を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	5		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	10			
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10			
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	2	対象者がいません。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	5		

	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	10			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	3		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8	2		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	3		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10			

対応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ふる里学舎こども館		
○保護者評価実施期間	令和7年2月10日 ～ 令和7年2月28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	令和7年2月10日 ～ 令和7年2月28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	法人のスケールメリットを活かし、近隣事業所との合同の行事を開催する等、事業所間で連携して、新たな体験の機会を提供しています。	法人内の放課後等デイサービス事業所への外出や近隣事業所との合同行事を開催し、普段経験出来ない新たな体験をする機会を作っています。	法人内に新たな放課後等デイサービスが開所するため、更なる連携を強め、新たな取り組みを行っています。
2	併設の体育館や広大な敷地を活かし、体を存分に動かせるようなスポーツレクリエーション等の活動を実施しています。	家庭の状況や保護者のニーズに合わせ、営業時間外での利用や利用日の調整等の要望に対し柔軟に対応しています。	毎日の活動が固定化しないよう、玩具等のツールを活用した新しい活動や、集団及び個別での活動を組み合わせていきます。
3		毎月季節に合わせた行事を実施するとともに、平日の学校終了後にもおやつ作りや体育館での活動日を設け日々の活動を工夫しています。	

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	コロナ禍で、保護者会、研修会・交流会を中止しており、再開が出来ていません。	年に1回、保護者向けの研修会・交流会の開催を検討しています。
2			
3			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ふる里学舎つぼみ館		
○保護者評価実施期間	令和7年2月10日 ～ 令和7年2月28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和7年2月10日 ～ 令和7年2月28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	法人のスケールメリットを活かし、近隣事業所との合同の行事を開催する等、事業所間で連携して、新たな体験の機会を提供しています。	法人内の放課後等デイサービス事業所への外出や近隣事業所との合同行事を開催し、普段経験出来ない新たな体験をする機会を作っています。	法人内に新たな放課後等デイサービスが開所するため、更なる連携を強め、新たな取り組みを行っています。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	コロナ禍で、保護者会、研修会・交流会を中止しており、再開が出来ていません。	年に1回、保護者向けの研修会・交流会の開催を検討しています。
2			
3			

公表 事業所における自己評価総括表	
-------------------	--

○事業所名	ふる里学舎アネッサデイセンター			
○保護者評価実施期間	令和7年2月10日		～	令和7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数)	8
○従業者評価実施期間	令和7年2月10日		～	令和7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	法人のスケールメリットを活かし、近隣事業所との合同の行事を開催する等、事業所間で連携して、新たな体験の機会を提供しています。	法人内の放課後等デイサービス事業所への外出や近隣事業所との合同行事を開催し、普段経験出来ない新たな体験をする機会を作っています。	法人内に新たな放課後等デイサービスが開所するため、更なる連携を強め、新たな取り組みを行っていきます。合同行事で交流の場を設けていきます。
2	併設の体育館でバスケットや縄跳び等をして体を動かす活動を取り入れていれています。	外で体を動かせる環境が限られている為、子どもたちが思い切り体を動かせるように、体育館で遊べる玩具を揃えています。	活動が固定化されないように、体育館でできるレクリエーションを増やしていきます。
3	ふる里学舎じどう館と協力して幅広く活動できるように工夫しています。	ふる里学舎じどう館と合同行事を実施し、交流の機会や集団活動の機会を作っています。	協力体制を組むことで、制作や必要な遊具等の貸し借りが可能で支援の幅が広がります。また本人に適した事業所環境を選ぶことにも繋がります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者向けの研修会が実施できておらず、安全計画等の各種マニュアル整備状況や訓練状況などが十分に発信できていません。	コロナ禍で、保護者研修会・交流会を中止しており、再開が出来ていません。	R7年度からエリア毎に、保護者研修会・交流会の再開を予定しています。また日頃からの対応時に訓練実施等の様子を伝えていきます。
2	屋外の遊び場がありません。	事業所の環境上（市の建物の一角を借用して運営）、屋外遊戯場が設置できていません。	週1回体育館を借りての活動や、児童状況に応じて建物周辺の散策を行っています。
3			

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	ふる里学舎じどう館			
○保護者評価実施期間	令和7年2月10日		～	令和7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	54	(回答者数)	31
○従業者評価実施期間	令和7年2月10日		～	令和7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数)	14
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月31日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	法人のスケールメリットを活かし、近隣事業所との合同の行事を開催する等、事業所間で連携して、新たな体験の機会を提供しています。	法人内の放課後等デイサービス事業所への外出や近隣事業所との合同行事を開催し、普段経験出来ない新たな体験をする機会を作っています。	法人内に新たな放課後等デイサービスが開所するため、更なる連携を強め、新たな取り組みを行っています。
2	広大な敷地がある事で、外でたくさん身体を動かし、伸び伸び遊べる環境が整っています。	遊具、ボール遊び、キックボード等それぞれがしたい遊びを出来る限りさせてあげられるように、状況に合わせて時間や場所を上手く使うようにしています。	インターン生やボランティア学生等が来る土日を中心にレクを実施したり、個の遊びだけではなく、集団での遊びを充実させていきます。
3	隣接する同法人の成人施設事業所の活動も活用し、芋ほりや野菜の収穫なども行っています。	収穫するだけではなく、スイートポテト作りを行うなど、収穫・調理・食べるをセットで楽しむ機会を作っています。	収穫体験に合わせて、野菜や植物について考えるクイズや遊びも取り入れていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者向けの研修会が実施できておらず、安全計画等の各種マニュアル整備状況や訓練状況などが十分に発信できていません。	コロナ禍で、保護者研修会・交流会を中止しており、再開が出来ていません。	R7年度からエリア毎に、保護者研修会・交流会の再開を予定しています。また日頃からの対応時に訓練実施等の様子を伝えていきます。
2			
3			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ふる里学舎浦安 プレイスクール			
○保護者評価実施期間	令和7年2月10日 ～ 令和7年2月28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50	(回答者数)	26
○従業者評価実施期間	令和7年2月10日 ～ 令和7年2月28日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	法人のスケールメリットを活かし、近隣事業所との合同の行事を開催する等、事業所間で連携して、新たな体験の機会を提供しています。	法人内の放課後等デイサービス事業所への外出や近隣事業所との合同行事を開催し、普段経験出来ない新たな体験をする機会を作っています。	法人内に新たな放課後等デイサービスが開所するため、更なる連携を強め、新たな取り組みを行っていきます。
2	活動場所を分けることが出来ます。	利用児の特性や活動内容によって、福祉センターを利用し、プレイスクールと併せて活動出来るようにしています。	余暇活動や行事等、更に活動内容の充実が図れるよう取り組んでいきます。
3	日頃から子ども様子を保護者と話し、連携を取っています。	連絡帳アプリや送迎時に、保護者へ様子を伝えていきます。	職員間で情報を共有出来るよう、日頃の打ち合わせ、または会議を通して話し合いを行っていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	コロナ禍で、保護者会、研修会・交流会を中止しており、再開が出来ていません。	年に1回、保護者向けの研修会・交流会の開催を検討していきます。
2	遠足などの余暇活動が実施できていません。	毎月行事は企画しており、市内散策は企画しているが、平日利用される方が散策に参加できない状況があります。	近隣の公園に出かける機会を作り、余暇活動の充実を図っていきます。
3			

公表

事業所における自己評価総括表(放課後等デイサービス)

○事業所名	そよかぜキッズ			
○保護者評価実施期間	令和7年2月10日 ～ 令和7年2月28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数)	25
○従業者評価実施期間	令和7年2月10日 ～ 令和7年2月28日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月31日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	法人のスケールメリットを活かし、近隣事業所との合同の行事を開催する等、事業所間で連携して、新たな体験の機会を提供しています。	法人内の放課後等デイサービス事業所への外出や近隣事業所との合同行事を開催し、普段経験出来ない新たな体験をする機会を作っています。 今年度は、蔵波への外出を取り入れ、じどう館の利用児と交流を図りました。	法人内に新たな放課後等デイサービスが開所するため、更なる連携を強め、新たな取り組みを行っていきます。 法人のスケールメリットや特徴を活かし、蔵波以外の事業所への外出も検討し、新たな体験の機会を設けていきます。
2	活動プログラムを固定化されないように工夫しています。	土曜日や長期休みには、調理や外出、季節の行事を取り入れ行っています。	平日は短時間であるが、新しい活動や行事を行う等更に充実させられるようスケジュールを見直し工夫していきます。
3	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事の様子等を発信しています。	SNS等で情報提供するだけではなく、実習生や見学者等を多く受け入れ、開かれた環境を意識しています。	引き続き積極的に、実習生や見学者等を受け入れやSNSでの発信を行っていきます。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	コロナ禍で、保護者会、研修会・交流会を中止しており、再開が出来ていません。	年に1回、保護者向けの研修会・交流会の開催をエリア毎に検討していきます。
2	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	幼稚園等の交流を求める声もありますが、必要性を感じていないご家族もいる状況があります。	様々なご意見がありますので、必要に応じて検討させていただきます。また、地域の公園等外出の機会を増やし、地域のお子さんとの交流を図る機会を検討していきます。
3	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	以前行っていた保護者懇談会は、参加者が少なく開催が出来ておりません。	年に1回、保護者向けの研修会・交流会の開始をエリア毎に検討していきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 そよかぜキッズ

公表日 令和7年 5月 日

利用児童
数 32

回収数 27

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	26		1		・たくさん体を動かせるスペース があって良いと思います。 ・子ども的人数に対して十分に 広いです。 ・雨の日も室内で思う存分遊ば せてもらえてありがたいです。	基準であるおおむね10名1人当 たり2.47㎡以上の活動スペース、1 人当たりの床面積1.65㎡以上 の遊戯室があります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	26	1			・先生が沢山いらっしゃるので安 心してお任せできます。 ・十分な数の先生で面倒を見て もらっています。 ・看護師の方がいてくださるので、 急な怪我や体調の変化を診てい ただけて安心感があります。	定員30名に対しての、配置基準 は7.5人です。加配加算取得状 況により+1名の職員を配置す るとともに、利用状況や障害特 性に応じて協力職員を配置こと もあります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっ ていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じ て、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされてい ると思いますか。	27				・視覚的に分かりやすい環境に なっており、過ごしやすそうだと 感じました。 ・机や棚に写真が貼ってあり、1 日のスケジュールも絵カードで提 示してあるのでとても分かりやす いと思います。	写真やイラストを用いて分かりや すいようにしています。設備や活 動場所もイラストで示し、お子さ んが分かりやすいように工夫して います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思 いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっている と思いますか。	25	2			・いつも掃除が行き届いており清 潔です。 ・季節によって飾りを変えてくれ るので、子どもが興味を持ち、覚 えてくれるのでありがたいです。 いつも綺麗です。	毎日清掃を行っています。また、 毎月季節ごとの制作を行い子ども たちが興味関心を持てる工夫をし ています。
適切 な支援 の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性 のある支援が受けられていると思いますか。	23	4			・STやOTの個別訓練や面談など更に 増えたとありがたい。心理士がいると なお嬉しいです。 ・STやOTによる活動など様々なこと をやって下さってありがたいです。 ・なんとなく記入した内容に対して も、OTに確認して返事を下さり大変 ありがたいです。	日々お子さんの様子を確認しお子 さんの特性の理解に努め、一人ひ とりに合わせた支援の提供を行っ ています。また、専門職との活動 や専門職から助言を取り入れ日々 の支援を行っています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支 援内容と合っていると思いますか。	22	1		2		支援プログラムはR7.3からHPにて 掲載しています。法人の理念を基 に事業所の環境や障害特性に応じ た支援を行っています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が 客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画） が作成されていると思いますか。	25	1		1	・かなりしっかり特性をみて下 さっています。面談もしっかり時 間をとってやって下さっています す。ありがたいです。	日々お子さんの様子を確認しお子 さんの特性を理解した上で、個別 支援計画を作成しています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発 達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「 移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が 適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されてい ると思いますか。	25	1		1		ガイドラインに基づき、こどもの 支援に必要な項目を設定して個別 支援計画を作成しています。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	1		1		お子さんの個々の課題に沿って 日々支援を行っています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されている と思いますか。	26	1				基本的なスケジュールは、一定に していますが、季節の制作やクラ ス合同での活動等を取り入れてい ます。また、教材や遊具の入れ替 え、配置換えを行っています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他 のこどもと活動する機会がありますか。	13	4	8	2	・遠足先などで他の園の子供と交 流する機会はあると思いますが、 年に数回でも地域の子供達と交流 する機会があると良い刺激になる と思います。 ・特に交流の必要性を感じていま せんが、夏祭りや運動会でもきよ うだい児を通して少しの交流の場 があり、ありがたいです。 ・大変だと思いますが、遠足など で外に連れていって下さり、感謝 しています。	地域の公園や公共施設への外出を 行い、地域の子供たちと交流する 機会を設けています。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負 担等について丁寧な説明がありましたか。	27					利用開始前の契約時に説明をして います。利用者負担等に変更が生 じた場合はその都度文章にてお知 らせしています。

保護者への説明等	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2 7					個別支援計画を実際に見てもらいながら説明を行っています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	25	1		1	・ペアレントトレーニングや研修会など更に充実していただけると嬉しいです。 ・もしかしたら開催しているかもしれないが、参加したことがない。 ・そよかぜ会で作業療法士の先生勉強会があり、とても勉強になったので、今後も可能な範囲でこのような勉強会を行って頂けると嬉しいです。	保護者会や保護者だけの会で、専門職の講話や制度に関する情報提供等を行っています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	2 6	1			・どの職員もこどもの様子をこまめにとても詳しく教えてくれます。 ・連絡帳でやり取り出来ています。	連絡アプリや電話にて些細なことでも伝えています。保護者からの希望を受けて個別面談を設定しています。気軽にいつでも相談していただける体制を整えています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2 7				・定期的に面談があります。 ・連絡帳で日々色々な相談が来ていると思います。	定期的な面談以外に必要に応じて、連絡アプリや電話での相談、面談の機会を設ける等柔軟に対応しています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2 5	2				お子さんの気持ちになり支援を行っています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2 5	2			・父母の会（そよかぜ会）の開催時など、とても親切に対応してくださっています。 ・毎月の親子参加行事やそよかぜ会での他の保護者の方と交流ができるのがあります。 ・毎月保護者参加の行事があり、クラスの様子が見られてとてもありがたいです。	保護者会、クラス別懇談会を行っています。また、保護者のみの交流の場を提供しています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2 5	2			・困り事があった時、すぐに面談の場を設けて下さり、具体的なアドバイスをいただけて本当に助かりました。 ・こちらから何度か相談を申し込み快く受けてもらったことがあります。	直接頂いたご意見やご要望については、その対応が可能なのか協議した上でご回答させていただいています。そのような場を改めて設けているわけではなく、日々のご家族とのやり取りの際にお知らせください。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2 2				アプリで色々な連絡があり助かります。	連絡アプリを導入し、日頃から連絡が取りやすい体制を整えています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	2 7				そよかぜ便りは紙で頂くと、思い出に残りやすいなと思いました。	InstagramやYouTubeで日頃の様子や行事の様子を発信しています。自己評価の結果はホームページに掲載してお伝えしています。事業所便りの配布方法については、検討させていただきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2 4	3				「個人情報保護規」を基に十分注意しています。肖像権に関しては事前に同意をとっています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2 4	1	1	1		保護者会で説明を行っています。職員間でも共有し、マニュアルを基に研修を行っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2 7				・避難訓練を頻繁にやって下さっているので、いざという時に動揺しにくいと思います。 ・防災訓練を行っており、子どもも色々分かってきたようです。	火災訓練年12回、水害訓練年2回、地震訓練年2回、計16回を実施しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2 7					保護者会で説明し、環境設定や支援内容を定期的に見直し安全確保に努めています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2 4	3			・すぐに連絡していただけて、カメラで確認した様子も詳しく教えていただけました。 ・些細な怪我也も報告してくださっています。	怪我に繋がる事象があった場合は、連絡アプリ・電話等でお伝えしています。また、安全管理のため、行動観察カメラを設置し、怪我があった際はカメラを確認し、状況を説明出来るように努めています。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	2 6	1			・職員さんに安心して甘えていると思います。	安心して過ごせる場所になるよう、環境や雰囲気作りに努めています。

満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	2	5	2	・毎日ウキウキでバスに乗っています。 ・毎朝「今日ペンギンバス？」と聞かれます。 ・先生やお友達と一緒に遊ぶのを毎日とても楽しみにしています。 ・お休みの日も「そよかぜキッズ行きます！」と言っています。 ・毎日笑顔で登園していくので、こちらも嬉しいです。 ・毎日出発時にはそそくさと準備しています。 ・どんなに良いところでも家が良いように、たまに行き渋りがあります。 ・楽しみにしていますし、言葉の面で成長を感じています。	楽しんで通ってきて頂けるよう、工夫や配慮をしていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	2	6	1	・子ども一人ひとりの様子をよく見てくださっています。 ・入園してからこどもは表情豊かになり、家族皆が明るくなりました。本当にありがとうございます。 ・そよかぜキッズに入園できて本当によかったです。ありがとうございます。 ・いつも暖かく見守って下さり、ありがとうございます。支えられています。	お子さんにとって満足、保護者の方に信頼して頂けるように努力していきます。

公表

事業所における自己評価結果(児童発達支援)

事業所名		公表日 令和7年 5月 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	15			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12	3	こどもの動きによって職員が少ないと感じる時がありますが、内容を工夫しながら活動しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13	2	・ 過ごしやすいよう必要な構造化に取り組んでいます。 ・ 写真やイラストを用いて分かりやすいようにしています。設備や活動場所もイラストで示し、お子さんが分かりやすいように工夫しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12	3		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	14	1		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	15			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	1	・ 意見を出し合ってしっかりと支援に繋がってきたいです。 ・ 定期的に会議や面談を行い、改善に努めています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	14	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	15		・ 支援技術に関する研修があり、支援力の底上げになりました。 ・ 研修計画を基に研修の機会を設けています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	15			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	15			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	15			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13	2	自分自身が中・長期的な視点では支援出来ているか自信はありませんが、会議や日々の活動の中で様々な情報共有をしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	15			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	15			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	15		クラス会議等で話をする場を設け、日々の状況は共有できるシステムが出ています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	15			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	15		集団活動を中心とし、個々の特性に合わせて活動も取り入れながら活動しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	3	送迎、遅番等のシフトで話時間がない場合でも、引き継ぎノート等で確認が来ていると思います。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	3	・必ず打ち合わせは行えていませんが、引き継ぎノート等で、共有を行えるよう配慮しています。 ・気が付いた事など、クラス間での共有を心がけています。 ・必要であればメモを残しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	14	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	15			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	15			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13	2		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	15			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	15			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	15			
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	15			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9	6	・交流の機会があると良いと思います。 ・外出が交流の機会になっていると思います。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	15			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	15			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	15			

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	15			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	15			
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	15			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	15			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	11	4		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	15			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	15			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	15		子どもの服薬など、職員全員での把握にしっかりと取り組んでいます。契約時の面談で確認し、全職員に共有しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	15		食事の面でのアレルギーも細かく共有しています。 アレルギーの対応は医師の指示によって対応し、マニュアルを作成し、食事を提供しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	15			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	15			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15		ヒヤリハットについては同じことを繰り返さないよう最善の注意を払っています。 対象となる事象は、全体に周知し再発防止に努めています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	15			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	15			

公表

事業所における自己評価総括表(児童発達支援)

○事業所名	そよかぜキッズ			
○保護者評価実施期間	令和7年2月10日 ～ 令和7年2月28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数)	27
○従業者評価実施期間	令和7年2月10日 ～ 令和7年2月28日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	15
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月31日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	法人のスケールメリットを活かし、大きな行事は近隣事業所と協力し行事を開催する等、事業所間で連携して、盛大に行事を開催することが出来、新たな体験の機会を提供しています。	盛大に行う行事については近隣の事業所職員と協力してもらい、行事を開催している。普段経験出来ない新たな体験をする機会を作っています。	近隣の公園の外出等の機会を増やし、新たな体験をする機会を作っていきます。
2	活動プログラムを固定化されないように工夫しています。	スケジュールに沿って活動を提供しているが、季節の歌や活動、行事を取り入れる等、工夫しています。	定期的にスケジュールを見直し、新しい活動を取り入れ興味の幅を広げていきます。
3	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事の様子等を発信しています。	SNS等で情報提供するだけではなく、実習生や見学者等を多く受け入れ、開かれた環境を意識しています。	引き続き積極的に、実習生や見学者等を受け入れやSNSでの発信を行っていきます。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	幼稚園等の交流を求める声もありますが、必要性を感じていないご家族もいる状況があります。	様々なご意見がありますので、必要に応じて検討させていただきます。また、地域の公園等外出の機会や、地域のお子さんとの交流を図る機会を検討していきます。
2	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	ご家族参加の行事や保護者懇談会は開催しています。研修会については、年1回の開催で計画していますが、研修の機会を増やして欲しいというご意見もいただいています。	ご家族のご意見を聞きながら、研修会の内容を検討していきます。
3			